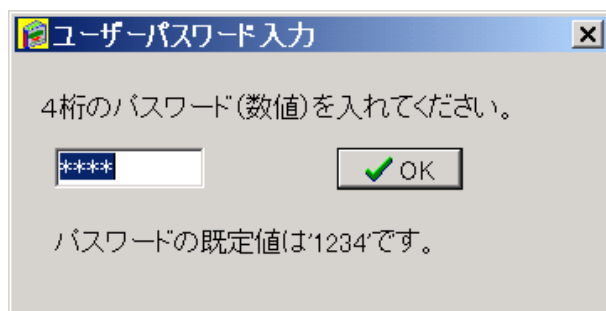


# 図書館ソフトの起動と初期設定事項

## 1. ソフトの起動とユーザーパスワード

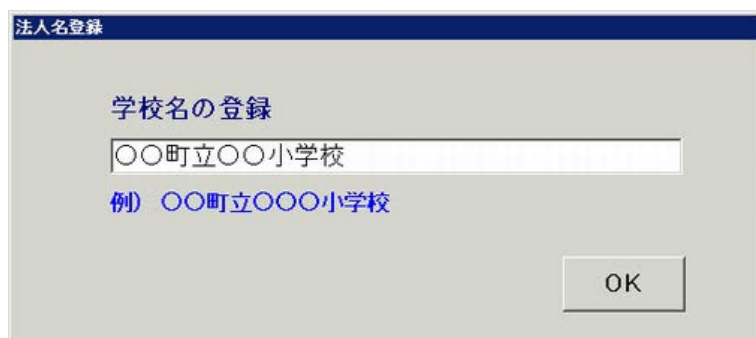
図書館ソフトを起動すると、ユーザーパスワードを入力する画面が出ます。このパスワードは初期設定メニューで変更できますが、変更するまでは、そのまま OK ボタンを押してください。



## 2. ユーザー名称の登録

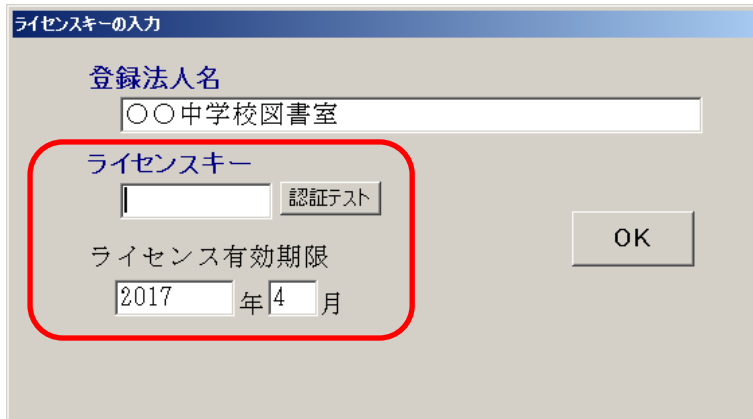
次にユーザー名の登録画面が出ます。学校名などを入力してください。ここで入力した名称は、バーコードラベルや各種の帳票に印刷されます。また、この名称に基づいてライセンスキーが発行されます。

例) ○○中学図書室            ○○会社資料室



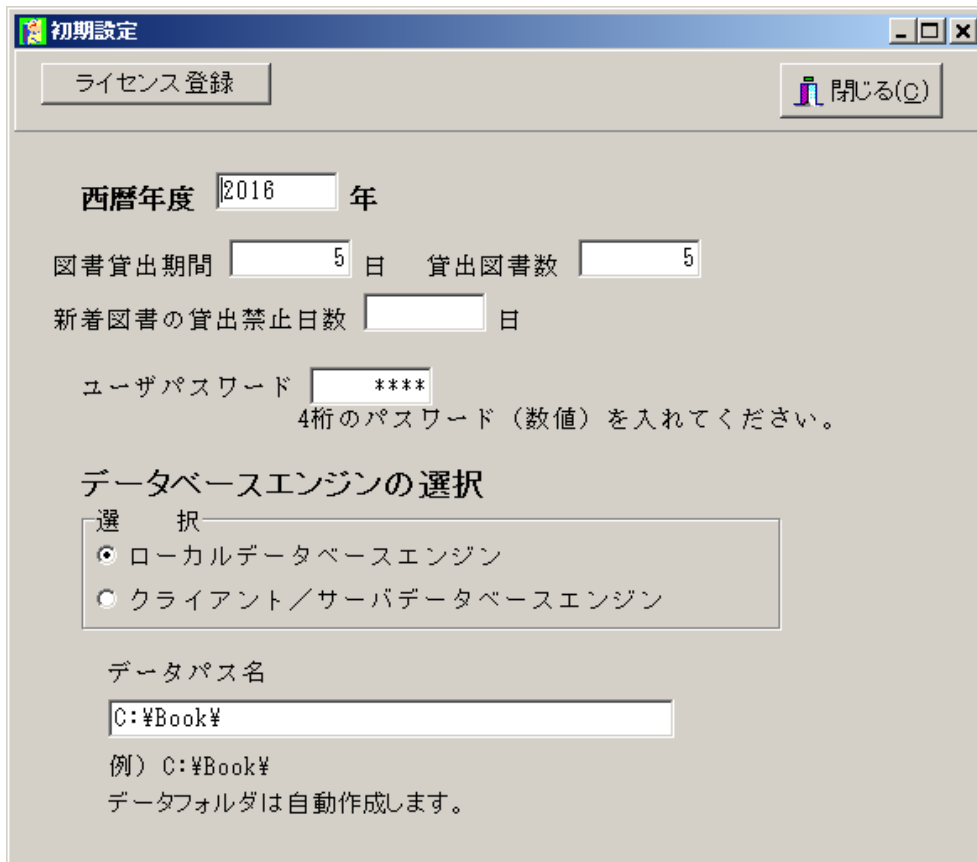
### 3. ライセンスキーの登録

ライセンスキーの登録は、 データ入力 ⇒ 初期設定 の画面で、「ライセンスキー登録」のボタンを押します。開発元が発行するライセンスキーを入力してください。体験版で使用する場合は、何も入れないでください。



### 4. 初期設定画面での確認

データ入力 ⇒ 初期設定 次のような画面になります。



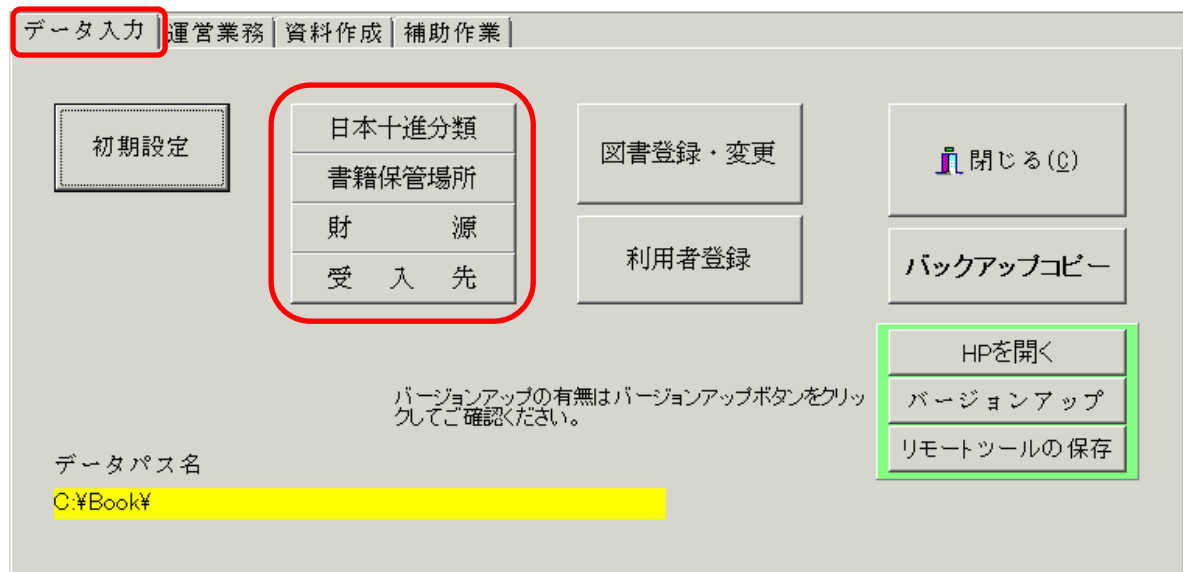
- ✚ 年度は西暦年度を入れてください。
- ✚ 図書の貸出数を入れます。
- ✚ 貸出が出来る最大数を入れてください。

- ✦ 新着図書の貸出制限をしたい場合は、貸出制限の日数を入れてください。制限をしない場合は、空白のままにしてください。
- ✦ ユーザーパスワードは4桁の数値です。パスワードを入れない場合は、何も入れないでください。
- ✦ データベースエンジンの選択は、変更しないでください。  
既定値は“ローカルデータベースエンジン”になっています。
- ✦ データパス名は規定値がローカルパソコンのCドライブになっています。  
基本的には、変更しないでください。  
なお、別のパソコンにデータを置きたい場合は、論理パス設定することが出来ますが、ネットワークでの運用は、ユーザー様の判断（責任）で行ってください。

## 5. 各種マスター登録の登録メニュー

データ入力をクリックすると、このような画面になります。

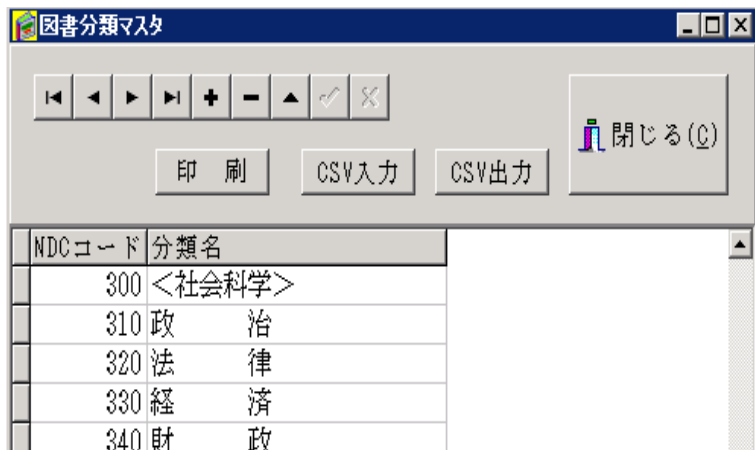
図書の登録を行う前に、必ず次の各マスターの画面を開いてください。この画面を開くとデフォルトのマスター項目が設定されますが、項目内容は必要に応じて変更してください。



## 6. 図書分類マスター（NDC）の登録

分類区分はNDCの中分類までとしていますので、通常は、このままで運用してください。なお、研究機関等での専門書の独自の分類は自由に変更できます。

この分類に基づいて蔵書分類や購入図書の集計計算等が出来ます。



NDCコード	分類名
300	<社会科学>
310	政治
320	法律
330	経済
340	財政

## 7. 図書保管場所マスター

このマスターを登録しておくことで、保管場所別の図書台帳が作成できます。保管コードは、10,20,30・・・のようにしても構いません。



保管コード	保管場所
1	図書館
2	図書館別室
3	国語
4	社会
5	数学

## 8. 財源マスター

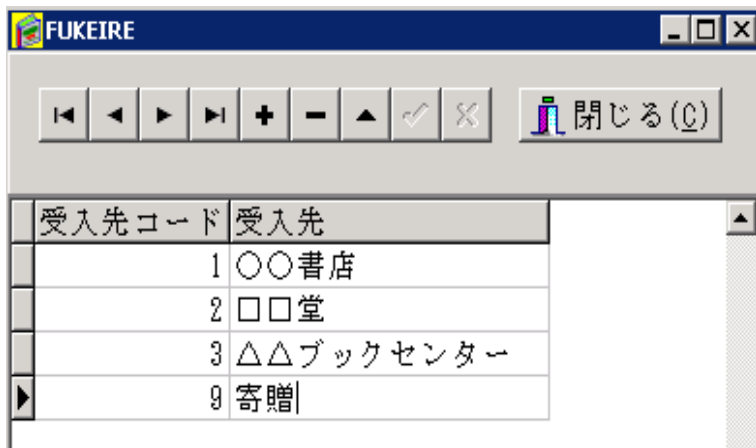
このマスターを登録しておくことで、財源別の図書台帳と財源別の集計が出来ます。



財源コード	財源
1	PTA
2	寄贈
3	市費 (備品)
4	市費 (消耗品)
5	その他

## 9. 受入先マスター

受け入れ先のマスターです。必要に応じて設定してください。



受入先コード	受入先
1	〇〇書店
2	□□堂
3	△△ブックセンター
9	寄贈

以上の設定が終わると、図書登録の作業が出来ます。